

(別添3)

**【岐阜県】
校務DX計画**

ICTを活用して校務を効率化することで、教員の事務作業の負担軽減を図り、児童生徒の支援を考える話し合いの時間や、教材の準備、また、研修をする時間に利用するなど、教育の質の向上につなげ、教員のよりよい働き方の実現を目指します。

教員が日々、多くの業務を抱え、多忙な毎日を過ごす中、各校の情報担当者によるICTを活用した業務改善についての事例を共有することで、各校で、職員会議等のペーパーレス化、職員アンケートのForms利用、校内の職員間でのTeamsを利用した情報共有、児童生徒の欠席連絡の電子化等、教員の働き方改革も重なって、校務のICT化の取り組みについて急激に進んできています。

ただ、校務のICT化については限定的であり、多くの校務で従来通りの方法を実施している状況です。また、学校の規模や状況、職員のICTの知識が追いついていない等、校務のICT化について課題は多くあります。

今後、校務のICT化を進めていく上で、職員のICTの知識・理解が重要となってきます。現在、各校で進めている校務のICT化について、校内の職員及び他校と情報を共有することで効果的な活用について共通理解するとともに、急速に変化するICT社会に対応できる職員の力量を養う必要があるため、ICTの活用について研修する機会を設けるなどして、職員一人一人のスキルアップを図っていきます。

また、昨年度導入した校務支援システムの活用により、教員の事務作業の負担軽減や、統一したデータによる利便性と情報セキュリティの向上が図れるよう、県としての体制整備を進めていきます。